



やまざき やす まさ
山 崎 泰 昌 議員
(政 和 会)

問 有害鳥獣の対応は

答 検討課題である

問 町の対策としては侵入防止柵の設置など農産物への対応を考えているようだが、現状では町民の生命、財産を守るための施策も必要な時期にきているのではないか。

佐藤町長 近年シカが住宅地に入り込んだり、イノシシが民家近くに出没したケースがあり、遭遇した場合の対処法について、周知していくとともにクマについては罾の設置など、猟友会と連携し取り組んでいく。

問 住宅地での銃器の使用は法律上難しく追い払う事が罾での捕獲しか打つ手がない現状では、近づけさせない

問 磯根資源回復への対応は

答 漁協、漁業者とともに取り組む

問 漁業団体や漁業者は磯根資源回復のため、ウニの移植や駆除に取り組もうとしている。町の対応は。

町長 磯根資源の回復には藻場造成が重要と捉えており、船越湾漁協が試験的に実施予定のウニの移植事業に対し、町独自の「浜の活力支援事業」により支援を行う。計画策定や事業実施の際は漁協、漁業者とともに取り組んでいく。

事が必要である。他の自治体では、住宅地をフェンス等で囲う対策を取っている所もある。当町でも試験的に実施すべきではないか。又パトロール隊を組織し、見回りはもちろん、出没の通報を受けたらただちに駆けつけるなどの施策を実施している所もある。当町でも行うべきでは。

佐々木農林課長 フェンスや、点滅ライトの有効性は認識している。各自治体などを調査し、対応を検討する。

問 町民総合運動公園内の水道施設改修を行うが、整備に至った過程は。

松葉教育長 長年上水道の拡張を前提に議論してきたが多額の費用が見込まれるなどの理由により整備を見送ってきた。しかしながらここ数年

答 状況の変化により整備する

問 水道施設改修の経緯は

において水源地の水量が不安定になりはじめたことから、給水施設の機能改善と施設利用者の利便性向上を図るため、取水方法の検討と施設改修を進めていく。



貝殻礁（ナマコ資源造成試験事業）